

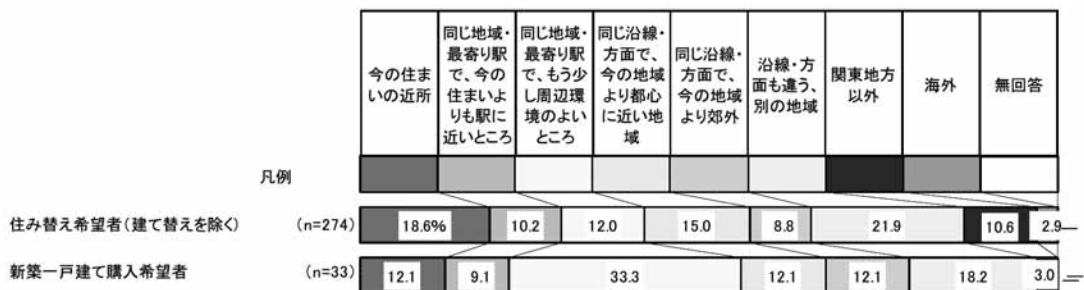
3 住み替え先に求める希望条件

同じ最寄り駅周辺での購入を希望

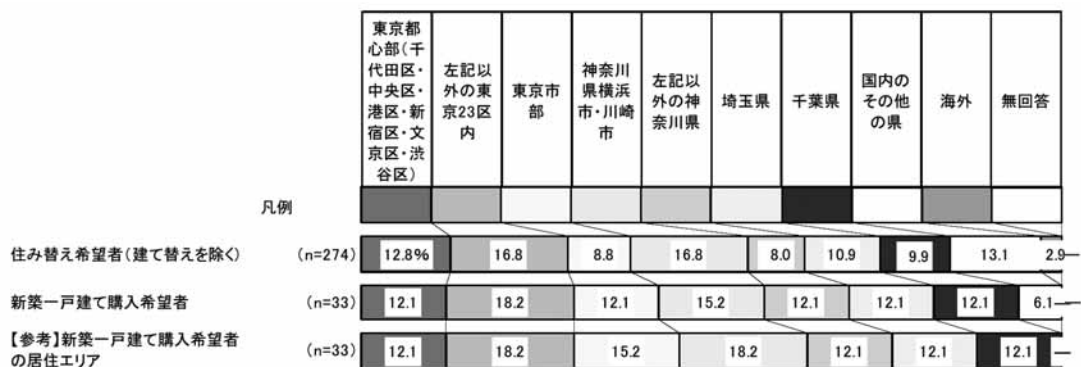
新築一戸建て購入希望者の希望の移動パターンをみると、「同じ地域・最寄り駅で、もう少し周辺環境のよいところ」が33%と最も多く、「今の住まいの近所」「同じ地域・最寄り駅で、今の住まいよりも駅に近いところ」をあわせると、半数以上が現在の最寄り駅周りを希望していることになる。先の新築マンション購入希望者では、「同じ沿線・方面で、今の地域より都心に近い地域」を希望する割合が最も高かったのは好対照で、それだけ新築一戸建て希望者は流動性が低いといえよう。また、「同じ沿線・方面で今の地域よりも郊外」も全体傾向よりもやや多く、新築マンション希望者に比べて郊外志向も見受けられる。

希望エリアとしては、現在の居住エリアとさほど変わらない分布になっている。

移動パターン（建て替えを除く住み替え希望者／単一回答）



希望エリア（建て替えを除く住み替え希望者／単一回答）

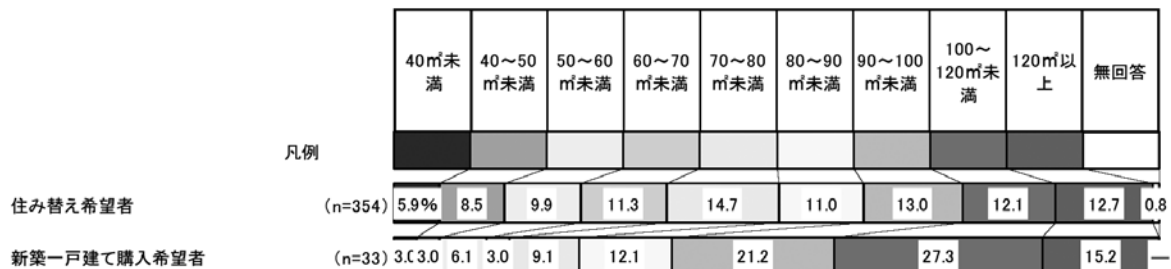


100㎡以上を希望する割合が4割超に

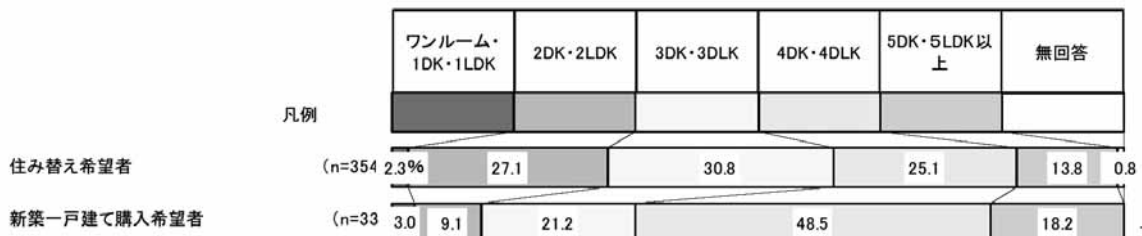
希望の住宅面積をみると、「100㎡～120㎡未満」が最も多く、「120㎡以上」を合わせると、100㎡以上を希望している人が42%を占めている。新築マンション希望者より広がっているのは当然だが、現在自己所有一戸建てに住んでいる人では、100㎡以上の割合が55%だったのに比べると、ややこぶりの一戸建てでいいと考える人が多いものとみられる。子供世帯との同居を希望している人もいるとはいえ、やはり夫婦のみの生活を希望している人が中心なので、こうした結果になっているものとみられる。

間取りタイプについてはほぼ半数の人が「4DK・4LDK」を希望している。「5DK・5LDK以上」を合わせると67%だが、やはり現在自己所有一戸建てに住んでいる人では4DK以上が79%を占めていたから、面積だけではなく、部屋数も多少少なくてもいいと考える人が中心のようである。

希望面積（住み替え希望者／単一回答）



希望間取り（住み替え希望者／単一回答）



さまざまな面で求めるレベルが高まる

希望の予算は、「4000～5000万円未満」(33%)が最も多く、次いで「3000～4000万円未満」(27%)、「5000～7000万円未満」(18%)となっている。4000万円以上の合計が6割に達し、住宅の購入・建築を考えている全体に比べると希望の予算帯は高くなる。

住まいや環境に求めるものをみると、多くの項目で住み替え希望者全体の平均値を5ポイント以上上回っている。新築一戸建て希望者が買い換え先の物件に求めるレベルは相当に高いといえよう。

希望予算 (住み替え希望者 / 単一回答)

	1000万円未満	1000～2000万円未満	2000～3000万円未満	3000～4000万円未満	4000～5000万円未満	5000～7000万円未満	7000～1億円未満	1億円以上	無回答
凡例	■	■	■	■	■	■	■	■	■
住み替え希望者(賃貸を除く) (n=273)	2.2%	11.7	20.1	27.1	27.1	19.0	13.9	4.0	0.7
新築一戸建て購入希望者 (n=33)	3.0	9.1	27.3	33.3	33.3	18.2	6.1	3.0	—

住まいや環境に求めるもの (住み替え希望者 / 複数回答)

